

○平成26年度 決算報告

一般会計は、市の財政運営の中核をなすもので、福祉・教育・都市基盤整備など基本的な行政サービスの大部分を担っています。

平成26年度の決算額は、歳入歳出差引額の12億2,567万円から27年度に繰越をする4億6,706万1千円を除いた7億5,860万9千円が実質収支となりました。

歳入では、市税や使用料及び手数料など、市自らが収入することができる自主財源が79億4,470万円で全体の約32.7%を占めています。また、一般的には自主財源の割合が高いほど安定した財政運営ができますとされています。

歳出では目的別にみると、高齢者・障害者に対する福祉や子育て支援などの経費である民生費が67億5,513万円で最も多く、教育費、公債費、衛生費の順となっています。

また、性質別にみると、普通建設事業費が48億8,159万円で最も多く、扶助費、人件費、物件費の順となっています。

9月の市議会定例会において、平成26年度の一般会計と6つの特別会計及び水道事業会計の決算が承認されました。

一般会計の決算額は歳入243億2,671万2千円、歳出が231億104万1千円となり、また特別会計の決算合計は、歳入が141億2,459万6千円、歳出が137億2,778万7千円となりました。

一般会計

【一般会計歳入】

単位：千円

項目		決算額
自主財源	市税	4,629,873
	分担金及び負担金	214,755
	使用料及び手数料	114,272
	諸収入	519,908
	繰入金	865,828
	その他	1,600,064
	合計	9,949,790
依存財源	地方消費税交付金	476,860
	地方譲与税	271,187
	その他各種交付金	144,294
	地方交付税	7,452,210
	国庫支出金	3,294,858
	県支出金	1,482,703
	市債	3,259,900
合計	16,381,912	
合計	24,326,712	

【市税の内訳】

単位：千円

税目	決算額
個人市民税	1,803,422
法人市民税	201,406
固定資産税	2,025,674
軽自動車税	122,328
たばこ税	422,930
入湯税	54,113
合計	4,629,873

【一般会計における歳出の内訳】

○目的別歳出の内訳

単位：千円

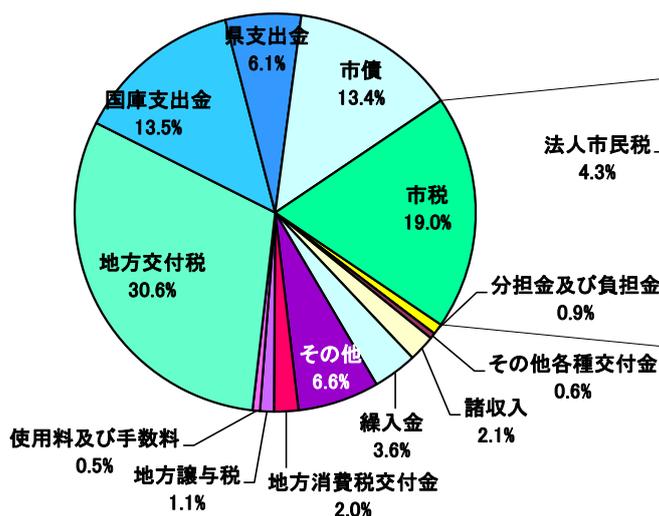
項目	決算額
議会費	175,608
総務費	1,963,005
民生費	6,755,130
衛生費	1,991,435
農林水産業費	974,866
商工費	131,108
土木費	1,940,418
消防費	1,021,936
教育費	4,304,231
災害復旧費	283,953
公債費	2,204,839
諸支出金	1,354,513
合計	23,101,042

○性質別歳出の内訳

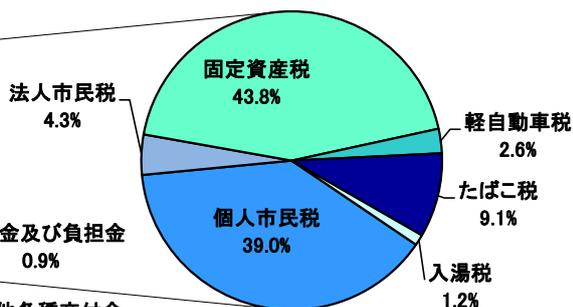
単位：千円

項目	決算額
人件費	2,932,100
物件費	2,551,352
扶助費	3,839,507
補助費等	2,219,538
公債費	2,214,552
積立金	1,343,392
繰出金	2,453,614
普通建設事業費	4,881,590
災害復旧事業費	283,882
その他	381,515
合計	23,101,042

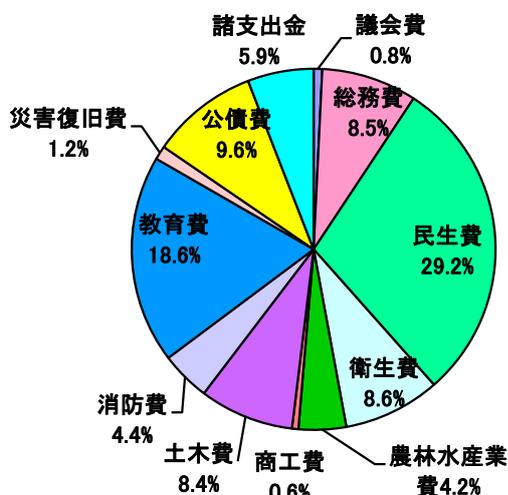
歳入



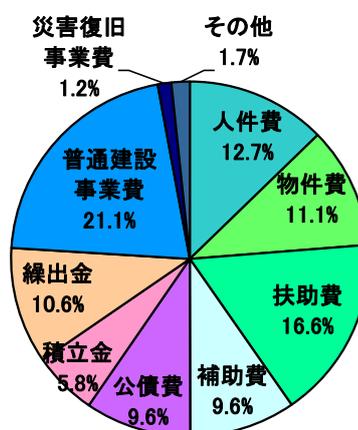
市税の内訳



目的別歳出



性質別歳出



【基金の内訳】

単位：千円

会計	区分	決算年度末現在高	
一般会計	積立基金	財政調整基金	4,326,824
		減債基金	1,205,908
		その他特目基金	8,651,772
	定額運用基金	土地開発基金	479,583
		石上福祉資金貸付基金	4,531
特別会計	その他基金等	高額療養費貸付基金	7,000
		国民健康保険支払準備基金	486
		介護給付費準備基金	113
		農業集落排水事業債減債基金	350,804
合計	区分	15,027,021	

【市債の現在高】

単位：千円

項目	決算年度末現在高
一般会計	21,750,416
水道事業会計	6,111,570
農業集落排水事業特別会計	2,034,060
公共下水道事業特別会計	2,152,583
合計	32,048,629

【公有財産】

単位：㎡

区 分	土地（地積）	建物（延面積）
本 庁 舎	8,417.89	3,984.29
支 所 庁 舎	13,480.70	3,738.02
その他行政機関	8,339.96	3,294.07
公 共 用 財 産	学 校	493,252.77
	公 営 住 宅	24,562.63
	公 園	254,897.15
	そ の 他	535,051.15
田	-	-
畑	3,422.00	-
宅 地	15,840.18	-
山 林	213,849.00	-
原 野	2,778.00	-
雑 種 地	82,885.62	-
そ の 他	51,145.85	-
合 計	1,707,922.90	156,723.09

特別会計

単位：千円

項 目	歳 入	歳 出
国民健康保険	8,223,021	7,911,473
後期高齢者医療	424,036	423,084
介護保険	保険事業勘定	4,267,531
	介護サービス事業勘定	10,129
農業集落排水	578,044	565,776
公共下水道	621,835	584,296
合 計	14,124,596	13,727,787

○国民健康保険特別会計

国民健康保険加入者に係る医療費の支払いや、保健事業を行うために設けられていて、出産育児一時金や葬祭費の給付もしています。

平成26年度末の被保険者数は、11,543世帯22,906人となっています。

○後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度に基づき、75歳以上（一定の障害があると認められたときは65歳以上）の加入者に対して、届出や給付申請等の受付業務、被保険証の引き渡し、保険料徴収を行うために設けられています。事業運営は、茨城県内全市町村が加入する茨城県後期高齢者医療広域連合です。

○介護保険特別会計

介護保険制度に基づき設けられています。歳入は40歳以上の方からの介護保険料や国・県からの交付金、一般会計からの繰入金等で賄われます。

平成26年度末の第1号被保険者数は、10,258世帯14,779人となっています。

○農業集落排水事業特別会計

農業用水路の機能維持、公共用水域の水質保全及び農業集落における快適な生活環境の創出が急務となっております。

これまで整備を進めてきた、舟木地区において、計画的な管路工事の推進により、整備区域の拡大を図りました。

○公共下水道事業特別会計

銚田市中心部における生活排水を集合処理することにより、公共用水域の水質保全と快適な生活環境の創出が急務となっております。

平成26年度は、第2期地区の整備拡大を図るため、工事計画に基づき、幹線及び枝線の管渠整備の推進に取り組みました。

企業会計

○企業会計は独立採算制を原則とする事業を行う場合に、法令や条例に基づいて設置される経理手法です。

【事業の概要】 H27.3.31現在

項目	銚田市
給水人口（人）	39,770
給水戸数（戸）	11,801
年間総配水量（m ³ ）	2,158,561
年間有収率（%）	88.4

【収支の概要1】 単位：円

区分	金額	
収益	収入	1,209,221,438
	支出	1,202,360,488
資本	収入	12,269,867
	支出	523,594,078

- ・収益 主に給水業務に関わる費用
- ・資本 主に施設整備などに関わる費用

【収支の概要2】 単位：円

	区分	金額	
事業収入に関する事項	営業収益	給水収益	507,720,765
		受託工事収益	22,776,499
		その他の営業収益	17,836,393
	営業外収益	受取利息及び配当金	2,709,981
		他会計補助金	413,867,000
		長期前受金戻入	207,083,129
		雑収益	340,068
	特別利益	過年度損益修正益	0
	合計	1,172,333,835	
事業費に関する事項	営業費用	原水及び浄水費	247,304,394
		配水及び給水費	27,263,464
		受託工事費	23,532,853
		総係費	75,350,915
		減価償却費	624,284,088
		資産減耗費	20,570,634
		その他の営業費用	292,092
	営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	147,420,664
		雑支出	2,200,246
特別損失	過年度損益修正損	5,375,839	
	合計	1,173,595,189	